



7/1 浜小学校福祉体験授業



福祉体験授業を受け、宮竹小学校では児童が校内の福祉設備の点検し改善しました



能美市役所本庁舎の駐車場が高齢者・子育て世代・障がい者の方にも利用しやすいよう改修されます



7/2 三道山子ども食堂(シングルファミリー)



7/2 寺井校下女性会フードドライブ研修



7/10 コロナ禍での避難所運営研修



7/11 防災センター企画展



7/11 小松マテレショップ「mono-bo (モノボ)」



7/13 三道山子ども食堂(生活支援)



7/16 三道山子ども食堂



7/18 能美市トランポリン競技選手権大会



7/18 寺井地区都市再生整備計画完成式



7/27 三道山子ども食堂(生活支援)



8/6 泉台町いきいきサロン防災講演



8/6 三道山子ども食堂(生活支援)



8/8 三道山子ども食堂3周年交歓会



8/10 三道山子ども食堂(生活支援)



能美根上駅ステーションギャラリー



8/6 三道山子ども食堂(シングルファミリー)



8/10 三道山子ども食堂(生活支援)



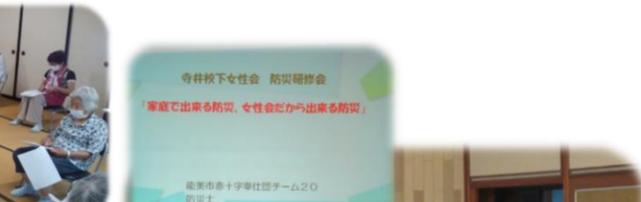
8/11 三道山子ども食堂(生活困窮世帯)



8/20 石子町いきいきサロン



8/20 三道山子ども食堂



8/24 三道山子ども食堂(お礼の絵手紙)



8/20 三道山子ども食堂



8/24 三道山子ども食堂(お礼の絵手紙)



9/1 寺井校下女性会 防災研修会

能美市議会議員

たなか さくじろう

田中 策次郎

絆 ぎずな ~能美市政報告~

能美市議会議員選挙のお知らせ 令和3年10月10日投開票(予定)!(p3)

9月議会一般質問(p2・p3)

- 障がい者就労施設等からの物品調達の支援を!
- 地元企業との協力連携による能美市産米販路拡大の支援を!
- 若者の居場所づくりとして公共のスケートパークの開設を!
- 災害時の町会町内会の避難行動計画策定と防災訓練の支援を!

市民の声を
市政に届けていきます!

思いが叶う能美市に!

田中 たなか さくじろう



●障がい者就労施設等からの物品調達の支援を！

国や地方公共団体が物品やサービスの購入を行う際に、率先して障がい者就労施設等から調達を推進する障害者優先調達推進法が施行され、能美市でも、この方針に基づき障がい者就労施設等からの物品等の調達を推進し、障がい者の工賃向上、自立した生活への支援を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で企業からの障がい者就労施設への仕事も減少し、施設運営も苦しくなっている中で、地方公共団体からの物品購入支援は大切な支えになる。しかし、地域活動や市民活動が停滞したこともあり、昨年令和2年度の市の購入は目標額1,100万円に対し、実績額は853万円であった。行政だけで物品購入を増やすのにも限界がある。コロナ禍である今、行政として障がい者就労施設を支える事が必要と考える。障がい者就労施設を支える物品等の販売について、市民への周知をさらに拡大・推進するような施策を進める事が出来ないか。

答 川本 素子 健康福祉部長

これまでの物品の調達に加え施設の清掃や除草・印刷業務等の他、職員が行なっている軽作業などについて委託できる業務がないか再検討する。市民への周知として、ホームページでの販売場所等のPRに加え、町会町内会や婦人団体協議会等に対するPRと、10月に市社会福祉協議会が行うフードドライブの会場において印刷物を配布する。PR周知活動により市民に障がいのある方の理解が進むことも合わせて期待している。今後、市と障がい支援事業所等で構成する能美市自立支援協議会の事業所連絡会と商工会が連携し、市内企業事業所に対し可能な作業や取扱商品等の説明会を開催、官民一体となって障がいのある方の社会参加や地域共生社会づくりを進めていく。



●地元企業との協力連携による能美市産米の販路拡大の支援を！

コロナ禍で飲食店の営業が自粛され、米の需要が減少している。米余りによる秋の新米価格の低下も懸念される。農業は地域産業の大きな基盤の一つであり、農地は水害から守る治水の要でもある。多様な面からも農業支援が求められる。平成28年の一般質問での答弁では、市内6企業の食堂での米の年間使用量は4万2000kgで、そのうち能美市産米の使用量は3,000kgであった。企業の給食業務は全て社外の給食会社へ委託しており、米をはじめ食材の調達は業務提携の事業者から一括で行われるため、市内企業の食堂に限り能美産米を使用することは難しいと聞いているが、それをチャンスと捉えて金額や使用量の上限を定めるなどして支援を行い、市内外の社員の方にも能美市産米を食べて頂きたい。

コロナ禍による米の需要が減少し価格の低下も危ぶまれる中、他地域産米との差額支援など農業生産者への支援が必要と考える。市内企業の食堂での能美市産米の使用促進や、販路拡大の支援ができないか。

答 谷田 直樹 産業交流部長

市内の米の販売状況は、消費者に直接販売する大規模農家では、卸業者や宿泊・飲食事業者向けの取引量が落ち込んでいる。コロナ禍の影響や、自然災害による収量減少や市場価格の低下など、農業経営のリスクが増大しており、農業者を支援し地域農業の維持を図ることは重要と認識している。現在、食堂を行っている市内10社の市内企業へは引き続き能美市産米の使用をJAや農業生産者と共に働きかける。市内の飲食・宿泊事業者などへも能美市産米や、地域振興作物を積極的に使用して頂けるよう地産地消の推進にも努めていく。



●若者の居場所づくりとして公共のスケートパークの開設を

東京オリンピック2020でスケートボードが初めて取り入れられ、金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個の輝かしい成績を収めた。今後、若者のスケートボードへの関心度がさらに高まり競技人口は増えていくと考えられる。施設で滑れないスケーターは住宅街や街中へと練習の場を探し求め、夜や危険な場所で行う事となる。若者が安心安全に練習できる公共施設が求められる。若者の地域の居場所づくりとして公共のスケートパークを開設出来ないか。

答 米脇 守 教育委員会管理局长

国内のスケートボード人口は40万人とも100万人とも言われ、市内の駐車場等でも若者がスケートボードに興じる姿をよく見かけようになっている。県内では、愛好者の間でスケートボード協会を発足させ、調整池や多目的広場、鉄道の高架下などが解放されている事例もある。

スケートパーク開設については、本市において愛好者の状況及び施設の必要性や要望を十分に把握していないのが現状である。指摘のとおり騒音問題など検討すべき課題も多く存在している。

スケートボードを通して能美市に若者が集い、街に活気が溢れることは、魅力あるまちづくりには欠かせないことであり、移住定住の促進にもつながる。今後は市内愛好者の状況を把握し、先進地における愛好者の組織の形態や施設の設置状況、利用状況など参考に、調査研究を行なっていく。



これまで35回の議会で52の提案が実現しています！

※詳細はホームページでご覧になれます

●災害時の町会町内会の避難行動計画策定と防災訓練の支援を！



この夏も各地で大雨による水害が起こり、秋には台風による災害も危惧される。近年は河川改修の整備を超えた災害が多発し、地域と市民一人ひとりが命を守る防災力の向上が求められる。

平成28年6月議会一般質問で、それぞれの町会が主体的に動けるような具体的な行動計画を作る事が必要であり。各町会だけに任せるのではなく、市や各町の防災士などが協力し町会での具体的な災害時の行動計画づくりを支援することが出来ないかと提案をしました。

コロナ禍でもあり防災訓練に頭を悩ませる町会町内会長さんも多いと考える。地域の防災士のみならず、色んなメニューを提示する事が地域防災を向上させるためには必要である。

町会に合った災害時の行動計画を考えた訓練や、学校や公共施設が連携した避難訓練も必要。町会町内会の防災訓練メニューや、町会町内会で話し合うべきルール作りと避難行動計画の推進について市が支援できないか

答 井出 敏朗 市長

地域の避難行動計画策定においては各町会町内会の立地条件や生活環境が異なることから、どのような災害リスクが想定をされ、どのように行動すれば良いのかを、より具体的に検討できるよう

防災に関する知識やノウハウを持つ職員による相談窓口を庁舎内に設け、町会町内会に寄り添いながら地域の特性に応じた計画づくりを支援していく。

●防災士など地域の防災リーダーや防災関係機関と地域における避難行動計画の策定マニュアルを整備し、普及や自主防災活動をサポートするプロパー人材の育成にも努めていく。地域で行う防災訓練についても、いざという時の命を守る備えであるばかりでなく避難行動計画を実践する訓練としても欠かすことはできない。

●これまでと同様に訓練に必要な諸機材の提供や、消防署員をはじめとする人材の派遣などに取り組むとともに、一人でも多くの市民が参加できるように訓練の企画立案に役立つガイドラインの作成や、実践的なプログラムの提供にも取り組んでいく。

自分たちの地域は自分たちで守るという共助の精神で取り組む自主防災活動は、まさに市民力地域力であり、これらの支援は安全安心のまちづくりをより一層強く勤めるものと考えている。



●能美市議会議員選挙のお知らせ 令和3年10月10日投開票！

告示日 令和3年10月3日(日曜日)

投票日時 令和3年10月10日(日曜日) 午前7時から午後8時まで

投票できる人

平成15年10月11日までに生まれた人で、令和3年7月2日以前に能美市に住民登録をし、引き続き選挙の投票日まで住所がある人で、投票日までに能美市から転出された人は投票できません。

期日前投票 選挙の当日に投票所へ行けない人は、投票日前に期日前投票ができます。

期間 公示(告示)日の翌日から選挙期日の前日まで

時間 午前8時30分から午後8時まで

場所 能美市役所大会議室3(来丸町1110番地)
能美市寺井地区公民館101会議室(寺井町ヨ47番地)
能美市根上学習センター講堂(大成町又111番地)
以上、どこでも可能です。(「投票所入場券」を持参して下さい。)

※注意事項 名字が同じ候補者がいる場合、必ず名前をお書きください！

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆
ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町字16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net



ホームページ



Facebook ページ



公式 LINE アカウント

